

# 共に学び、生きる共生社会コンファレンス〈令和元年度実施〉

～障害理解の促進、障害者の学びの場づくりの担い手の育成、学びの場の拡大に向けて～

## 趣旨

平成26年の障害者権利条約の批准等を踏まえ、誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会の実現に向けて、障害者の地域における学びの場を全国的に整備することが急務である。

そこで、障害者の生涯学習活動の関係者を集めた『共に学び、生きる共生社会コンファレンス』を全国ブロック別に開催し、障害者本人による学びの成果発表等や、学びの場づくりに関する好事例の共有、障害者の生涯学習活動に関する研究協議等を行うことで、障害のある者とない者の交流による**障害理解の促進**や、支援者同士の学び合いによる**学びの場の担い手の育成**、**障害者の学びの場の拡大**を目指す。

## コンファレンス実施イメージ

**例1** 障害者と日頃交流する機会がない参加者が、障害について理解を深めるための、障害者本人による学びの成果発表や、思いの表現等の機会を設定

**例2** 障害者の学びの場の担い手を育成するための優れた実践事例の発表や、ワークショップ等の実施

**例3** 実践者のネットワーク構築に資する、各テーマ（学びの場の類型、障害種、実施主体等）ごとの分科会の開催



実施例イメージ(文部科学省主催「超福祉の学校」平成30年11月)



## 実施規模

- 全国を6ブロックに分け、複数の都道府県の域内関係者を対象として実施  
(北海道、東北、関東甲信越、東海・北陸、近畿・中国、四国・九州・沖縄ブロックの6ブロック)

## 参加者

- 各ブロック100～200名程度を想定
  - 障害者本人、学びの**支援者**・関係者、障害者の学びに関心のある人など
- ⇒都道府県・市町村職員（障害者学習支援担当、生涯学習、教育、スポーツ、文化・芸術、福祉、労働等）、社会教育主事、公民館・図書館・博物館職員、特別支援学校等教職員、教職員経験者、障害者の学習支援実践者（NPO等）、大学関係者、福祉サービス事業所職員、社会福祉協議会職員等。

## 目指す成果

- 全国各地における障害理解の促進
- 実践者同士の学び合いによる担い手の育成
- 障害者の学びの場の拡大



誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、  
生きる共生社会の実現

# 〈令和元年度実施〉 共に学び、生きる共生社会コンファレンス実施団体一覧

No.	団体等名	事業名 テーマ	開催日・開催会場	概要
1	【北海道ブロック】 医療法人稲生会	ともに学ぶ共生社会を目指して～社会教育の実践を通じたコミュニティの可能性～	日程：令和2年2月22日(土) 会場：札幌市生涯学習センター ちえりあ	○午前 全体会(シンポジウム等) ○午後 分科会(3分科会) 体験ブース等
2	【東北ブロック】 秋田県教育委員会	共に学び、生きる共生社会 コンファレンス 東北ブロック	日程：令和元年 12月5日(木)・6日(金) 会場：秋田県生涯学習センター	○1日目(午後) 全体会(講演、シンポジウム) ※川島成道大使公演(ヴァイオリニスト) ○2日目(午前) 分科会(3分科会)
3	【関東甲信越ブロック】 一般財団法人福祉教育支援協会	共に学び、生きる共生社会 コンファレンス～障害理解の 促進、障害者の学びの場の 担い手の育成、学びの場の 拡大に向けて～	日程：令和2年2月14日(金) 会場：東京大学本郷キャンパス	○午前 全体会(リレートーク、シンポジウム等) ○午後 分科会(6分科会) 当事者参加型プログラム
4	【東海・北陸ブロック】 NPO法人学習障害児・者の 教育と自立の保障をすすめる会	障害者の学びの場づくり フォーラム in 東海・北陸	日程：令和元年12月1日(日) 会場：愛知みずほ短期大学	○午前 全体会(成果発表、講演等) ※河合純一大使講演(パラリンピアン) ○午後 分科会(5分科会)当事者参加型プログラム
5	【近畿・中国ブロック】 兵庫県教育委員会	共に学び、生きる共生社会 コンファレンス～障害理解の 促進、障害者の学びの場の 担い手の育成と障害者の学 びの場の拡大を目指して～	日程：令和2年1月31日(金) 会場：兵庫県民会館県民ホール	○午前 全体会(成果発表、シンポジウム) ○昼休み ポスターセッション ○午後 分科会(4分科会)
6	【四国・九州・沖縄ブロック】 国立大学法人愛媛大学	○(まる)のつどい～共に考 えよう！障害理解の促進、 学びの場の担い手の育成、 学びの場づくり～	日時：令和元年12月21日(土) 会場：愛媛大学グリーンホール他	○午前 全体会(成果発表、シンポジウム) ○午後 分科会(5分科会)